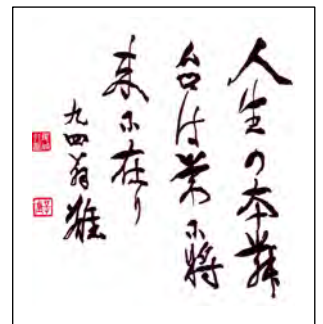


「尾崎行雄（罌堂）と相馬雪香 —その信念と生き方—

石田 尊昭

（尾崎行雄記念財団 理事・事務局長）

- 1) 憲政記念館（旧尾崎記念会館）——歴史と場所が意味するもの
- 2) 尾崎行雄が目指した立憲政治
 - ・政党・議会・選挙の在り方
 - ・民主政治一問われる有権者の姿勢
- 3) 尾崎行雄の今日的意義
 - ・「誰が正しいかではなく、何が正しいか」—公平かつ論理的思考
 - ・ぶれない信念／言葉の力／胆力と不屈の精神／「人生の本舞台」
 - ・「二つのフセン（普選と不戦）」—現実的かつ合理的平和論
- 4) 相馬雪香のリーダーシップ
 - ・日本のNGOのパイオニア
 - ・父から受け継いだ精神—公平性／世界的視野／行動力
- 5) 相馬雪香の言葉と「心の力」——本気／純粹／利他／感謝
- 6) 相馬雪香と民主主義 —— 「民主主義は種蒔き」



尾崎行雄（1858—1954／憲政の父。号は罌堂）

立憲政治・民主政治の確立に一生を捧げた政治家。1890年の第1回総選挙から第25回まで連続当選、衆議院議員を60年以上務めた。憲政擁護運動では、犬養毅とならんで「憲政の神」と称される。軍国主義が高まる中、軍縮を説き全国を遊説。晩年は世界連邦の建設を提唱。亡くなる前年に「初落選」。同年、衆議院名誉議員、東京都名誉都民（第1号）。「議会政治の父」とも呼ばれる。享年95歳。



相馬雪香（1912—2008／尾崎行雄三女）

第2次大戦後、アジア太平洋地域の女性交流による平和促進を目指した「アジア太平洋女性連盟」(FAWA)や、紛争地域の和解を促す「国際IC日本協会」、日韓友好を促す「日韓女性親善協会」、そして難民支援や地雷除去に世界規模で取り組む「難民を助ける会」などを発足。晩年は、父・尾崎行雄（罌堂）の名を冠した「罌堂塾」を立ち上げ、人材育成に取り組んだ。享年96歳。

中国新聞 SELEC

7月29日(日)

1960年、尾崎行雄記念財団が憲政の父・尾崎行雄の理念と業績を伝えるため、国会議事堂の向かい側に尾崎記念会館を建設し、衆議院に寄贈した。その後、規模を拡大し現在の憲政記念館となったが、議事堂に向かって凍と立つ尾崎の銅像は当時のままだ。

彼は日本の政党について、主義・政策ではなく過去のしがらみや利害・感情で結びつき、道

想



いしだ たかあき
石田尊昭

憲政の父・尾崎に学ぶ

理ではなく力を重んじ、国家国民のための政策論争をしていないと批判した。約70年前の指摘が今に通じるとすれば悲劇だ。また尾崎は、権力に従順な国民性、選挙の投票で「頼まれたから、金をくれたから」入れるという有権者の態度も厳しく批判した。「腐った水にボウフラがわくように、腐った選挙からは自堕落政治のボウフラがわく」と。

尾崎は1920年代から第2次大戦まで一貫して軍縮を唱え、戦後は世界連邦の建設を呼びかけた平和主義者としても知られる。だが尾崎を非武装・非暴力の理想主義者と捉えるのは早計だ。彼が軍縮論者となったのは第1次大戦後からだ。それは当時、世界が軍縮の方向に進む中、日本だけが軍拡をするのは得策ではなく、財政的負担も大きいと考えたからだ。

第2次大戦においても、世界情勢と国力を冷静に分析した上で、無謀な戦争はやめるべきだと主張した。そして広島と長崎に投下された原爆の威力を見て、次に大戦が起これば人類が滅ぶと確信した尾崎は、国家間の対立と軍拡競争を防ぐ具体的方策として世界連邦を提唱した。いずれも日本と世界の存続のために、その時点で採り得る最善の手段を追求したものと

える。権力にも大衆にも迎合せず、政治家と有権者の双方に自覚を求め、また内外の現状を的確に把握し、現実的かつ世界的視点で日本の方向性を示した尾崎から学ぶべきことは多い。広島で生まれ育ち、今は亡き祖母から原爆の凄惨さを教えられた私は日々、尾崎から多くの刺激を受けている。(尾崎行雄記念財団理事兼事務局長)

18歳からの
投票心得
10カ条

石田尊昭



心の力

命の尊厳にぞとることをすすめる
永良の心 利他の心 誠待の心 感謝の心
を相馬雪香さんに学ぶ

石田尊昭



民主政治
読本

尾崎行雄(著)
石田尊昭(校訂)

憲法と民主主義
のテキスト

復刻版
聖書社

定価 本体1,980円+税

平和活動家
相馬雪香さんの
50の言葉

石田尊昭

元気づけられる
言葉があります。

優しくも厳しく、押しもどかぬ
心に、力が湧いてきます。

石田尊昭(いしだ・たかあき)

1971年、広島県生まれ。98年、尾崎行雄の三女・相馬雪香氏と共にリーダー養成塾「罌堂塾」設立。相馬氏逝去の翌年、『平和活動家・相馬雪香さんの50の言葉』を上梓。以後、尾崎行雄と相馬雪香に関する本を精力的に執筆。「尾崎行雄と相馬雪香」「日本政治」などテーマに、NPO・大学・自治体等で講演。また、中高生を対象に「政治・選挙の基礎講座」を行う。著書『18歳からの投票心得10カ条』『人生の本舞台』『民主政治読本』『心の力』『罌堂言行録—尾崎行雄の理念と言葉』『平和活動家相馬雪香さんの50の言葉』『罌堂尾崎行雄』など。